

グループホームわらしべ
令和 7 年度地域連携推進会議 議事録

令和 7 年 12 月 17 日(水)
グループホームわらしべ
管理者 窪田真也

日時:令和 7 年 12 月 17 日(水)10:00~12:00

場所:ふじさかてらす

参加者:利用者 1 名、利用者ご家族 1 名、地域関係者(地域生活当事者)1名、
窪田(グループホームわらしべ管理者)
小野(グループホームわらしべサービス管理責任者)

進行:窪田

1. 開会

開会あいさつの後、出席者の自己紹介を行い、本日の進行について確認した。

2. 地域連携推進会議の趣旨・役割

令和 7 年度より義務化されている地域連携推進会議について、制度の趣旨や開催要件を確認し、年 1 回以上の継続開催と施設訪問を行うことを共有した。

3. 事業所説明

(1)運営体制・収支・人員方針

社会情勢を踏まえ、拠点・ホーム数や人員配置を見直し、無理のない運営体制へ移行していることを説明した。

一時的に収支が厳しい状況もあるが、満室時には黒字見込みであり、支援の質と職員の就労の持続性を重視した運営を行う方針である。

(2)移行支援の考え方

高齢期を見据えた移行支援については、早期から情報提供や相談を行い、「これからの暮らしを守るための準備」として段階的に進めていく考えを共有した。

(3)今年度の重点支援:余暇活動の充実

今年度の重点支援として、外出機会を持ちにくい利用者を対象に、職員が企画・同行する余暇活動の充実に取り組んでいることを報告した。

個々の体力や意思を尊重し、小規模で無理のない活動を継続していく方針である。

4. 意見交換

将来への不安や支援体制に関する意見が出され、事業所として、できること・できないこと

を明確にしながら、今後対話を重ねていくことを確認した。



5. ホーム見学

会議終了後、生活スペース(すがはら・あすなろホーム)の見学を行った。

